



2012 年度中間期

株主 通信

[第6期(中間)]
平成24年3月1日から
平成24年8月31日まで



百貨店事業が好調、増収・増益を達成 パルコをグループに迎え、さらなる飛躍へ

株主の皆さまには、日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

依然、厳しい消費・競合環境が続く中、J.フロント リテイリング（JFR）グループの当上半期の決算は、増収・増益を達成することができました。

特に主力の百貨店事業では、引き続き「新百貨店モデル」の確立に取り組んだ結果、都心の主力店舗全ての売上が前年を上回りました。

通期では、8月に連結子会社化した株式会社パルコの下半期業績が加わることから、売上高予想は1兆1,050億円、営業利益予想は318億円に上方修正いたしました。これに伴い、配当金は中間・期末ともに4.5円とし、年間では前年比1円増の9円を予定しております。

JFRグループは、新百貨店モデルの確立と複数の事業を展開するマルチリテilerとしての成長に向け、経営改革を一層加速させ、さらなる飛躍を目指してまいります。株主の皆さまには一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役会長 兼 最高経営責任者（CEO）**奥田 務** 代表取締役社長 **茶村 俊一**



代表取締役会長
兼 最高経営責任者（CEO）
奥田 務



代表取締役社長
茶村 俊一



当上半期の概況

前年を大きく上回る 増益を達成

JFRグループの上半期連結業績は、4月の決算発表時の見通しに対して、売上高は1.3%減となりましたが、コスト管理を徹底した結果、営業利益は1.7%増の1.5億円、経常利益は21.0%増の19億円、それぞれ上回りました。純利益につきましても、当初想定していなかったパルコ株式の段階取得に係る差損16億円を計上しましたが、見通しに対しては5.5%増の2億円上回りました。

また、前年同期比較では、売上高は0.4%増の4,571億円と増収に転じ、営業利益は26.4%増の91億円、経常利益は42.8%増の110億円、純利益は71.1%増の39億円と、全ての利益段階で大幅な増益となりました。

なお、中間配当金につきましては、当初予想の1株4円から4.5円に増額しました。

セグメント別では、主力の百貨店事業は、昨年の博多大丸長崎店閉店の影響があったものの、今春、大改装を行った松坂屋名古屋店、大丸神戸店や昨年春増床した大丸梅田店などの好調により、前年同期比1.0%の増収となり、営業利益は49.7%の大幅増益となりました。

スーパーマーケット事業は10.2%の減収で赤字となったものの、卸売事業は14.5%の増収で23.4%の増益、クレジット事業は4.6%の増収で16.3%の増益、その他事業は人材派遣事業などが好調で12.6%の増収、31.4%の増益となりました。



松坂屋名古屋店



大丸神戸店

Point 2

マルチリテイラーとしてのグループの成長戦略

(1)「新百貨店モデル」が好業績を牽引

価値観やライフスタイルのカジュアル化や、節約志向というマーケットの変化に対応すべく、当社は「新百貨店モデル」の構築に継続的に取り組んでまいりました。具体的には、マーケティング力の強化と店舗戦略の明確化をはかる中で、対象顧客層や品揃え・価格の幅の拡大、スペシャリティゾーンの開発・導入、高効率経営体制の実現などであります。

それらの結果、リーマンショック以降落ち込んでいた入店客数は2010年上半期から増加に転じました。また、従来あまり百貨店をご利用されていなかったヤング・アラウンド30のお客様にも多数ご来店いただいております。

当上半期は、松坂屋名古屋店において、2年にわたる大型改装の第1期として、「百貨店の顔」である1階、2階を刷新、「うふふガールズ」の導入や、特選フロアの再構築・強化などを実施しました。また、大丸神戸店

では食品売場の15年ぶりの全面改装を実施し、両店とも入店客数・売上ともに好調に推移しております。

さらに、10月5日、大丸東京店は、売場面積を従来の1.4倍となる46,000㎡に増床してグランドオープンいたしました。新しい東京店は、新たにラグジュアリーブランドやセレクトショップ、大型専門店などを導入するとともに、強みである食品や婦人・紳士雑貨を拡大再構築しました。オープン後は、入店客数・売上ともに大幅に増加し、好調なスタートとなりました。

今後、百貨店事業の競争力強化に向け、「新百貨店モデル」の確立を加速させ、幅広いお客様に支持される魅力的な店舗を創造するとともに、生産性の高い業務運営体制の構築にも取り組み、収益性の高いビジネスモデルを実現してまいります。

(2)パルコの連結子会社化
シナジー効果の創出を目指して

当社は、マルチリテイラーとしての発展を目指して、M&Aによる事業の規模や範囲の拡大にも取り組んでまいりました。

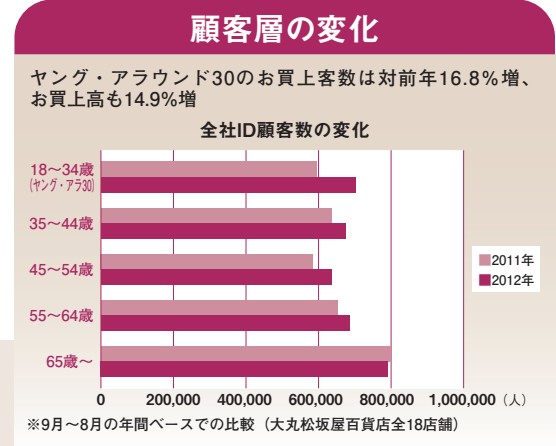
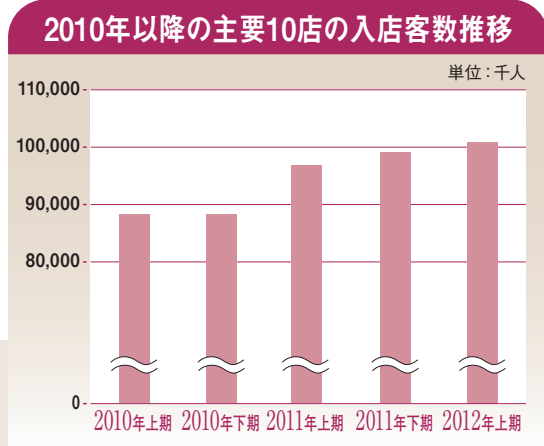
その一環として、3月に株式会社パルコを持分法適用関連会社とし、さらに7月から8月にかけて実施した公開買付で持株比率を65%まで高め、同社を連結子会社化し、経営資源などを相互に有効活用する体制を整えました。

パルコは、都市型商業施設の開発・運営という事業領域で優れたノウハウを有しており、JFRグループ各社と連携を深めることで多様なシナジー効果の創出が見込めます。現在、パルコとの間で百貨店事業、開発事業、関連事業などの各分野において、具体的な協議を進めています。

パルコとの連携強化によるシナジー効果の創出を急ぎ、両社のさらなる業績向上につなげていきたいと考えています。



握手を交わすパルコ・牧山浩三社長(左)と当社・奥田会長



パルコとのシナジー効果の創出

- 1) ノウハウの相互提供・活用を通じた店舗の共同開発
 - ・両社が所有する自社店舗などの相互提供と活用。
 - ・両社のノウハウを活用した、より一体化した商業施設の開発と運営。
- 2) パルコの運営ノウハウ導入による百貨店事業の改革加速
 - ・パルコの持つ、有望テナントを早期に発見して育成するマーケティング力の導入。
 - ・少数で効率的なテナント運営・管理を行うパルコのオペレーションノウハウの導入。
- 3) 相互の顧客基盤を活用した営業力強化
 - ・共同販促の実施、カード顧客への共同プロモーションの展開などによる集客力向上・売上拡大。
- 4) 関連事業における協業機会の拡大
 - ・パルコ専門店事業の当社店舗への出店機会拡大。
 - ・空間形成事業、ビルマネジメント事業、人材派遣事業などの相互活用。

(3) 海外市場への積極進出をスタート

持分法適用関連会社の株式会社スタイリングライフ・ホールディングス（SLH）が国内に展開している雑貨小売業「プラザ」の台湾での展開を目指して、JFRが90%、SLHが10%出資する現地子会社「JFR PLAZA Inc.」を8月に設立しました。また、中国・上海市における百貨店の新設・運営に関する事業提携について、現地企業

「新世界百貨店」と5月に基本合意いたしました。上海最大級の本格的な高級百貨店の開業を支援・協力してまいります（2014年末から2015年初めころ完成予定）。

今後もJFRグループは、アジアを中心とする海外市場の開拓に積極的に取り組んでまいります。

通期の業績見通し

2012年下半期は、引き続き厳しい経営環境が予想されますが、通期の業績につきましては、まずパルコを連結する前で、売上高9,645億円（前期比2.5%増）、営業利益は260億円（同20.4%増）と、増収かつ3期連続の営業増益予想といたしました。これにパルコの下半期業績を加えた2012年通期の連結業績は、売上高が1兆1,050億円（前期比17.4%増）、営業利益は318億円（同47.3%増）、経常利益は322億円（同40.4%増）とそれぞれ大きく増加すると予想しています。当期純利益については、127億円の予想で前期比32.5%減となりますが、これは前年同期に法人税率の引き下げに伴い税金費用が大幅に減少するという特殊要因があったためです。

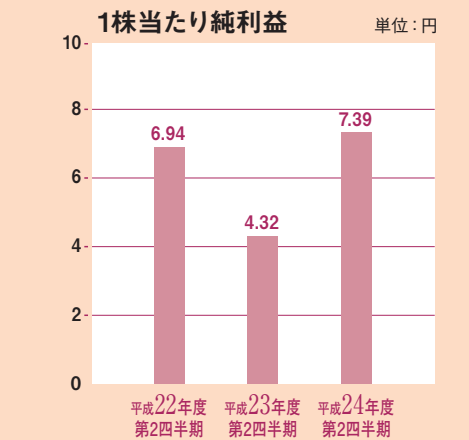
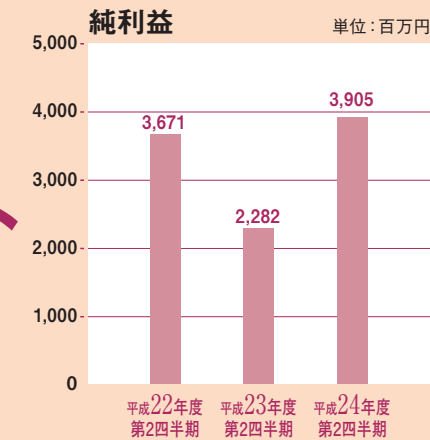
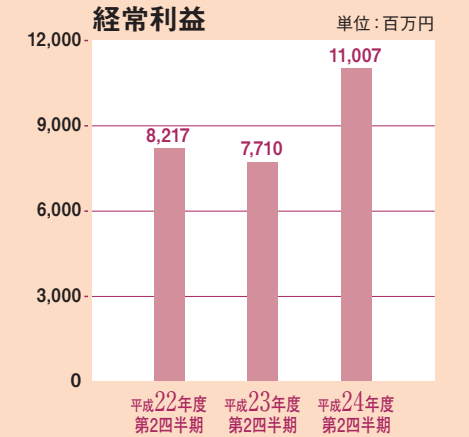
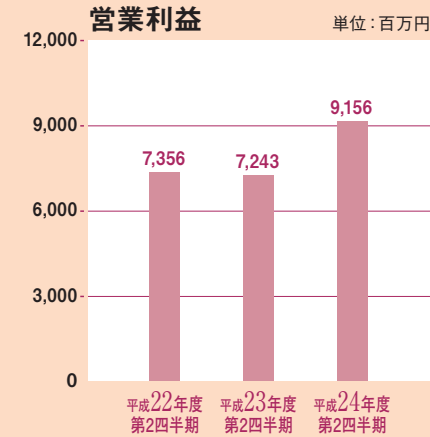
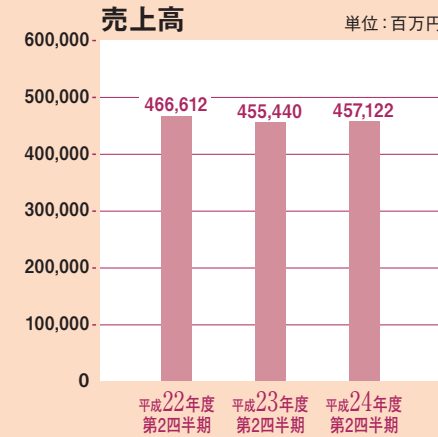
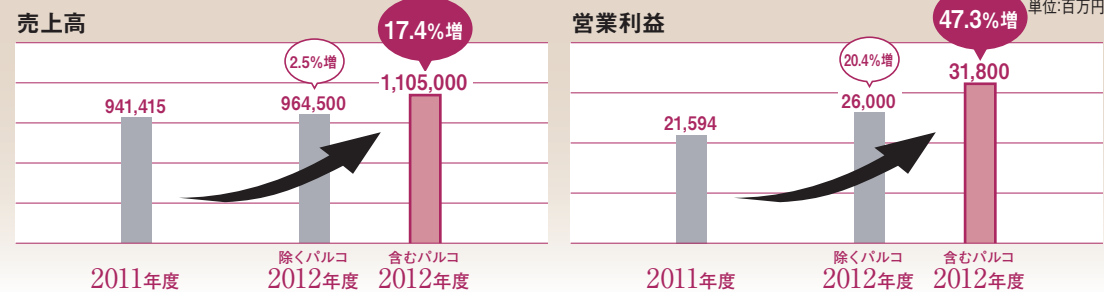
JFRグループは、連結営業利益318億円の達成に向

け、各社それぞれが直面するマーケットの変化に対応して、常に新たな価値を創造し、お客様に提供し続けてまいります。

2012年度 連結業績見通し (2012年10月修正分)

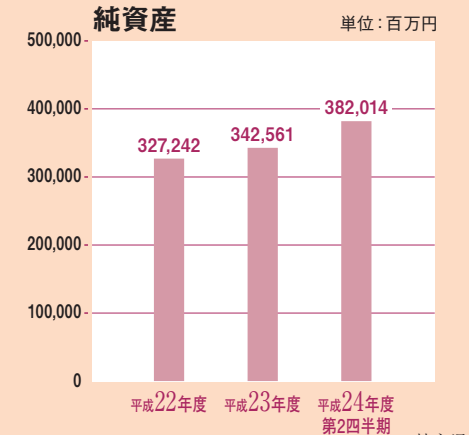
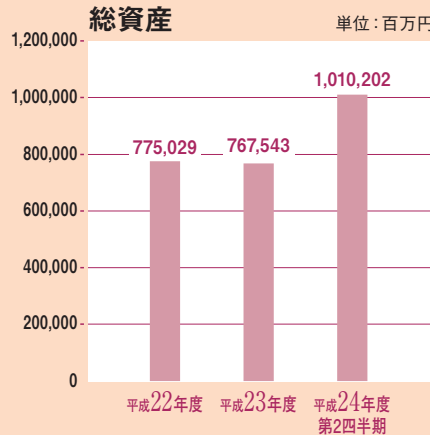
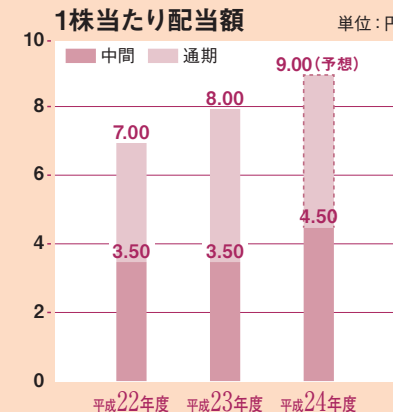
売上高：1兆1,050億円（前期比17.4%増）
 営業利益：318億円（同47.3%増）
 経常利益：322億円（同40.4%増）
 当期純利益：127億円（同32.5%減）

パルコ子会社化の業績への影響



第2四半期 (中間期) 財務ハイライト (連結)

Financial Highlights



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成24年8月31日)	前連結 会計年度 (平成24年2月29日)	科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成24年8月31日)	前連結 会計年度 (平成24年2月29日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	180,939	149,240	流動負債	379,539	267,676
現金及び預金	37,172	24,204	支払手形及び買掛金	95,356	74,616
受取手形及び売掛金	62,667	54,720	短期借入金	129,059	58,940
有価証券	1,464	1,769	コマーシャル・ペーパー	16,993	9,998
たな卸資産	30,869	28,070	1年内償還予定の社債	1,000	—
繰延税金資産	13,815	12,457	未払法人税等	5,425	4,657
その他	35,621	28,594	前受金	18,694	17,032
貸倒引当金	△671	△575	商品券	39,155	39,374
			賞与引当金	6,899	6,174
固定資産	829,263	618,302	役員賞与引当金	—	154
有形固定資産	637,984	495,944	返品調整引当金	16	—
建物及び構築物(純額)	198,554	138,968	単行本在庫調整引当金	163	—
土地	432,630	353,713	販売促進引当金	605	340
建設仮勘定	1,948	445	商品券等回収損失引当金	10,945	10,322
その他(純額)	4,851	2,817	事業整理損失引当金	1,029	1,097
無形固定資産	43,582	17,694	その他	54,193	44,967
のれん	1,746	—	固定負債	248,649	157,305
その他	41,836	17,694	社債	500	—
投資その他の資産	147,695	104,664	長期借入金	74,387	37,087
投資有価証券	34,942	33,983	繰延税金負債	102,066	83,257
長期貸付金	1,622	1,442	再評価に係る繰延税金負債	1,279	1,308
敷金及び保証金	86,685	48,938	退職給付引当金	26,927	25,022
繰延税金資産	6,765	4,687	役員退職慰労引当金	44	62
その他	20,754	18,525	負ののれん	23	1,163
貸倒引当金	△3,075	△2,913	その他	43,420	9,403
資産合計	1,010,202	767,543	負債合計	628,188	424,982
			(純資産の部)		
			株主資本	335,291	333,764
			資本金	30,000	30,000
			資本剰余金	209,581	209,598
			利益剰余金	101,659	100,133
			自己株式	△5,949	△5,967
			その他の包括利益累計額	△1,463	△847
			その他有価証券評価差額金	△1,413	△827
			繰延ヘッジ損益	△33	△1
			為替換算調整勘定	△15	△18
			新株予約権	15	99
			少数株主持分	48,170	9,544
			純資産合計	382,014	342,561
			負債純資産合計	1,010,202	767,543

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
売上高	457,122	455,440
売上原価	348,481	345,885
売上総利益	108,640	109,555
販売費及び一般管理費	99,484	102,312
営業利益	9,156	7,243
営業外収益	5,248	3,841
受取利息	170	169
受取配当金	305	301
債務勘定整理益	1,770	1,708
負ののれん償却額	1,140	1,145
持分法による投資利益	1,594	—
その他	267	515
営業外費用	3,398	3,373
支払利息	788	779
固定資産売却損	297	191
商品券等回収損失引当金繰入額	1,872	1,875
持分法による投資損失	—	152
その他	440	375
経常利益	11,007	7,710
特別利益	905	344
固定資産売却益	540	—
投資有価証券売却益	36	24
事業整理損失引当金戻入額	233	320
その他	94	—
特別損失	4,890	4,235
固定資産処分損	1,926	309
投資有価証券売却損	2	3
投資有価証券評価損	720	1,204
減損損失	10	—
事業整理損	534	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,254
段階取得に係る差損	1,667	—
その他	28	462
税金等調整前四半期純利益	7,022	3,819
法人税、住民税及び事業税	3,397	1,484
法人税等調整額	△486	△188
法人税等合計	2,911	1,296
少数株主損益調整前四半期純利益	4,111	2,523
少数株主利益	205	240
四半期純利益	3,905	2,282

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,772	13,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,437	△27,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	70,635	7,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,968	△5,720
現金及び現金同等物の期首残高	24,204	33,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,172	27,484

Point 連結貸借対照表

当第2四半期末の「資産合計」は1兆102億2百万円で、主に株式会社パルコを連結子会社化したことにより、前期末に比べ2,426億59百万円増加し、また、「純資産合計」も、前期末に比べ394億53百万円増加の3,820億14百万円となりました。
この結果、自己資本比率は33.0%となり、資産の大幅な増加により、前期末に比べ10.4ポイント低下いたしました。

Point 連結損益計算書

連結売上高は、4,571億22百万円で対前年同期比0.4%の増収となりました。さらに、百貨店事業を中心としたコスト管理の徹底により、販売費及び一般管理費を2.8%削減できましたことから、営業利益は26.4%の増益となりました。また、経常利益は42.8%増、四半期純利益は71.1%増と、全ての利益段階で大幅な増益となりました。

Point 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
127億72百万円の収入となりましたが、法人税等の支払いが大幅に増加したことなどにより、前年同期に比べ11億9百万円減少となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
主に株式会社パルコの株式取得により、704億37百万円の支出となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
主に投資資金の借入調達により、706億35百万円の収入となりました。

大丸東京店 今秋、第Ⅱ期増床オープン

大丸東京店は10月、店舗面積を従来の1.4倍の4万6,000平方メートルに拡大し、装いも新たにオープンしました。ビジネスパーソンから出張・旅行者まで、東京駅をご利用になる幅広いお客様の多様なニーズにお応えするため、今、東京で人気があり、支持されている商品・ブランド、サービスを取り揃えました。従来の百貨店の枠にとどまらない、人気のセレクトショップや専門店を導入、また、外国人のお客様のための観光案内などの新しいサービスがスタートしました。

新しくオープンした増床部分のご紹介

B1F ほっぺタウン

全長約60メートルの「お弁当ストリート」や「お肉の細道」、本場ニューヨークの有名デリを集めた「KG'sニューヨークデリ」、キャンディ専門店「パパブレ」を展開するスペシャリティショップに加え、東京土産の定番ショップ、作りたてが楽しめる実演ショップなど22店舗が一堂に揃う「デパチカスイーツ」が誕生。



お弁当ストリート



お肉の細道



デパチカスイーツ



パパブレ

1・2F

インターナショナルブティック トーキョー

ルイ・ヴィトンやプラダなど憧れの9つのラグジュアリーブランドが1～2階にデビュー。バッグや革小物などの雑貨をメインに、メンズアイテムも充実。



ルイ・ヴィトン (1階)

3～5F

セレクトファッション トーキョー

ローズパッドやシッパなどのセレクトショップをはじめ、人気の21ブランドを集積。多忙な女性にもうれしい買い回りのし易さが特徴です。



ローズパッド (3階)

7F

ラゲージ トーキョー

ビジネスマンやトラベラーに支持されるバッグ、キャリーケースをさらに強化。百貨店初登場のブランドも導入し、圧倒的な品揃えを実現したメンズバッグ・旅行用品売場。



ラゲージトーキョー

8～11F

ライフスタイルを充実させる 大型専門店

東京駅ならではの新しい品揃えを実現した東急ハンズや登山・アウトドアライフの石井スポーツ + ici clubがデビュー。



東急ハンズ (8～10階)



ICI石井スポーツ + ici club (11階)

各店でもリニューアルを実施

松坂屋名古屋店

今春、南館に、スウェーデン発のメガファッションブランド「H&M」をはじめ「旬」なショップがデビュー。本館、北館とあわせ、長い歴史と伝統を礎に、時代に呼応した新しい風を柔軟に取り入れたリニューアルを進めています。来春には食品フロアが全面リニューアルする予定です。



松坂屋名古屋店
日本最大級の「H&M」

大丸神戸店

4月に、地下1階食品売場の大改装を実施。店内導線や厨房の配置を見直し、すっきりと見やすく買いやすい売場に生まれ変わりました。また新たに神戸の「洋の食スタイル」に対応したスペシャリティゾーン「テーブル・プリュス」が誕生。デリから調味料まで扱うニューヨーク発の「ディーン&デルーカ」などが好評です。



大丸神戸店「テーブル・プリュス」

PLAZAとの取り組み

カタログギフト 「PLAZA GIFT BOOK」を発売



予算に合わせて
お選びいただける3タイプをご用意

大丸松坂屋百貨店は、7月からPLAZA発のギフトカタログ「PLAZA GIFT BOOK」の取扱いを開始しました。PLAZA独自のブランドやキャラクター商品など、輸入雑貨を中心に100点以上を掲載。まるで絵本を開いているようなビジュアルで、雑貨本としても楽しめます。結婚、出産、パーティの引き出物など、若年層のギフトシーンに対応し、贈る側も贈られる側もうれしい、ハートフルなギフトになりました。今後も「PLAZA」と商品面の連携に取り組んでいきます。

「PLAZA」の海外展開へ 新会社を設立

当社は、関連会社の株式会社スタイリングライフ・ホールディングス (SLH) と共同で、輸入生活雑貨「PLAZA」のアジア地域の大都市大型商業施設への展開を決定しました。まずは台湾での事業展開を進めるため、台湾・台北市に、共同出資による新会社 JFR PLAZA Inc. (杰福爾舶楽股份有限公司) を設立。来年春頃をめどに、第1号店の出店を予定しています。将来的にはこの試みを、他のアジア諸国へ拡大することも検討しております。



第1号店を出店予定の
台湾・台北市

当社グループは、地球環境の保全への取り組みのほか、広く社会に貢献する企業集団として、大震災への支援活動をはじめ、地球環境保全や深刻な飢餓・貧困に苦しむ地域への支援、安全・健康な生活を営むための啓発を行っています。

さくらパンダが 被災地の子どもたちを訪問



さくらパンダが被災地を訪問

大丸松坂屋百貨店は、震災で被災した子どもたちの心を癒し、笑顔を取り戻してもらおうと、NPO法人が実施する、「子どもたちの笑顔を生み出す活動 (JCV子どもの笑顔プロジェクト)」を支援しています。4月には、店頭募金やさくらパンダのチャリティ・ピンバッジの販売代金の一部を寄付したほか、さくらパンダが被災地を訪れ、応援メッセージを子どもたちに手渡しました。さらに、今秋も人気デザイナーとコラボしたピンバッジの販売や募金活動などの支援活動を実施しました。

ピンクリボン運動(乳がん啓発活動)への 支援活動を展開

9月26日～10月30日の期間、大丸松坂屋百貨店とJFRカードは、協賛企業と連携し、乳がん検診の正しい知識を広め、早期受診を推進することなどを目的とする啓発活動「ピンクリボンキャンペーン 2012」を開催しました。啓発ポスターのほか、検診ガイドブックの無料配布、マンモグラフィ見学会の無料開催、さらにピンクリボンピンバッジや限定品の販売などを実施。また、JFRカードは、抽選で乳がん検診負担相当額のギフトカードを差し上げる「乳がん検診プレゼント」を実施しました。



啓発ポスター、
乳がん検診ガイドブック

ペットボトルキャップを集めて 世界の子供たちにワクチンを届けよう!

世界では、ワクチンの不足が原因で毎年多くの子どもたちが命を落としています。大丸松坂屋百貨店では、ペットボトルキャップを集め、世界の子どもたちにNPO法人を通じてワクチンを届ける活動を続けています。2009年12月にこの活動を始めてから本年9月末で、ポリオワクチン換算で約66,000名分となりました。また、より地域社会と密着した貢献活動の一環として、大丸心斎橋店などでNPO法人などが行う小学校のペットボトルキャップ回収活動を支援する取り組みも行っています。



Art Event Schedule

アート イベント スケジュール

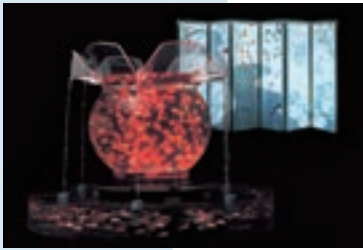
（大丸・松坂屋各店の 主なアートイベント

大丸・松坂屋の各店では各種イベントを開催し、日常とは違った空間を演出することにより、お買い物とはまた違った楽しみを皆さまにご提供いたします。

今後の展覧会スケジュール

2012年12月 再興第97回院展
(松坂屋美術館)
12月1日(土)～12月9日(日)

アートアクアリウム展
～大阪・金魚の艶～
(大丸心齋橋店 北館14階イベントホール)
12月1日(土)～1月21日(月)



生誕110周年記念 ウォルト・ディズニー展
(松坂屋美術館)
12月15日(土)～1月20日(日)



シャーロット・クラーク製作の
ミッキー人形とポーズをとるウォルト
1930年©Disney

2013年1月 米寿記念 古谷蒼韻展
(博多大丸福岡天神店 本館8階特別会場)
1月2日(水)～1月7日(月)

第57回 現代書道二十人展
(松坂屋上野店 本館6階催事場)
1月2日(水)～1月8日(火)

第46回 現代京都書作家展
(大丸ミュージアム<京都>(大丸京都店6階))
1月16日(水)～1月28日(月)

歌川国芳展～奇想の浮世絵師による江戸案内～
(大丸ミュージアム<神戸>(大丸神戸店9階))
1月16日(水)～1月28日(月)



「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」

第57回 現代書道二十人展
(松坂屋美術館)
1月26日(土)～2月3日(日)

2月 加賀赤絵展
魅惑の赤、煌めく金彩
(松坂屋美術館)
2月9日(土)～3月10日(日)

3月 クールベ展
(大丸ミュージアム<梅田>(大丸梅田店15階))
3月1日(金)～3月11日(月)

3月 生誕90周年記念
放浪の天才画家
山下清展
(松坂屋美術館)
3月16日(土)～4月9日(火)



「長岡の花火」
貼絵(部分)
1950(昭和25)年
©清美社

「自分の顔」貼絵(部分)
1950(昭和25)年 ©清美社

いけばな女性作家展
(大丸心齋橋店 北館14階イベントホール(予定))
3月予定

第64回 華道京展
(大丸ミュージアム<京都>(大丸京都店6階))
3月28日(木)～4月2日(火)

4月 「ベニシアと仲間たち展」
(大丸ミュージアム<京都>(大丸京都店6階))
4月4日(木)～4月15日(月)(予定)



4月 いけばな神戸展
(大丸ミュージアム<神戸>(大丸神戸店9階))
4月予定

いけばな2013 古流松藤会展
(松坂屋上野店 本館6階催事場)
4月11日(木)～4月16日(火)

第68回 春の院展
(松坂屋美術館)
4月13日(土)～4月21日(日)

アニメ化40周年 ルパン三世展
(松坂屋美術館)
4月27日(土)～5月21日(火)

歌川国芳展～奇想の浮世絵師による江戸案内～
(博多大丸福岡天神店 本館8階特別会場)
4月末～5月上旬

5月 大阪市立近代美術館開設記念絵画展(仮称)
(大丸ミュージアム<梅田>(大丸梅田店15階))
5月1日(水)～13日(月)

第48回 日春展(日展日本画部春季展)
(松坂屋美術館)
5月25日(土)～6月2日(日)

第47回 日本伝統工芸染織展
(大丸ミュージアム<京都>(大丸京都店6階))
5月中旬予定

第48回 日春展(日展日本画部春季展) ※入場無料
(大丸心齋橋店 北館14階イベントホール・劇場)
5月予定

第40回 深雪アートフラワー合同展 ※入場無料
(大丸心齋橋店 北館14階イベントホール)
5月～6月予定

「J.フロント リテイリング株主様お買い物ご優待カード」
のご提示により、ご本人およびご同伴者1名様に限り、
大丸・松坂屋の有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

ホームページの
ご案内

大丸 <http://www.daimaru.co.jp/museum/index.html>
松坂屋 <http://www.matsuzakaya.co.jp/> から各店のイベントカレンダーをご覧ください。

※松坂屋美術館の展覧会情報は専用ホームページをご覧ください。
<http://www.matsuzakaya.co.jp/museum/museum.html>

※上記はいずれも予定です。展覧会名称・会期・会場などは変更する場合がございます。



1 大丸心齋橋店
〒542-8501
大阪市中央区心齋橋筋一丁目7番1号
TEL: (06) 6271-1231



2 大丸梅田店
〒530-8202
大阪市北区梅田三丁目1番1号
TEL: (06) 6343-1231



5 松坂屋高槻店
〒569-8522
大阪府高槻市
紺屋町2番1号
TEL: (072) 682-1111

6 大丸山科店
〒607-8080
京都市山科区
竹鼻竹ノ街道町91番地
TEL: (075) 255-7365



3 大丸京都店
〒600-8511
京都市下京区四条通高倉西入立売西町79番地
TEL: (075) 211-8111



4 大丸神戸店
〒650-0037
神戸市中央区明石町40番地
TEL: (078) 331-8121



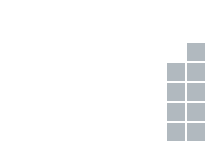
7 大丸新長田店
〒653-0038
神戸市長田区
若松町五丁目5番1号
TEL: (078) 643-2951



8 大丸須磨店
〒654-0154
神戸市須磨区
中落合二丁目2番4号
TEL: (078) 791-3111



9 大丸芦屋店
〒659-0093
兵庫県芦屋市船戸町1番31号
TEL: (0797) 34-2111



10 株式会社 博多大丸
福岡天神店



11 株式会社 下関大丸



12 株式会社 高知大丸



13 株式会社 鳥取大丸

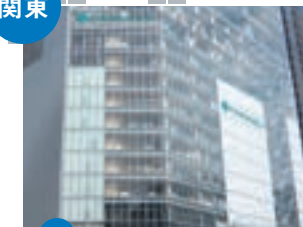


14 大丸札幌店
〒060-0005
札幌市中央区北五条西四丁目7番地
TEL: (011) 828-1111

JFR network

ネットワーク

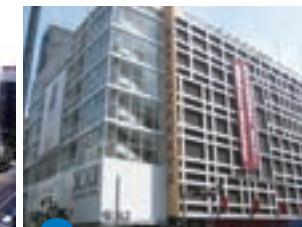
関東



15 大丸東京店
〒100-6701
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
TEL: (03) 3212-8011



16 松坂屋上野店
〒110-8503
東京都台東区上野三丁目29番5号
TEL: (03) 3832-1111



17 松坂屋銀座店
〒104-8166
東京都中央区銀座六丁目10番1号
TEL: (03) 3572-1111



18 大丸ららぽーと横浜店
〒224-0053
横浜市都筑区
池辺町4035-1
TEL: (045) 287-5000



19 大丸浦和パルコ店
〒330-0055
さいたま市浦和区
東高砂町11番1号
TEL: (048) 615-6000



20 松坂屋静岡店
〒420-8560
静岡市葵区御幸町10番地の2
TEL: (054) 254-1111

中部



21 松坂屋名古屋店
〒460-8430
名古屋市中区
栄三丁目16番1号
TEL: (052) 251-1111



22 松坂屋豊田店
〒471-8560
愛知県豊田市
西町六丁目85番地1
TEL: (0565) 37-1111



単元(1,000株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社の単元株式は1,000株となっており、1~999株の単元未満株式につきましては、株式市場での売買ができない、株主総会で議決権を行使できない、株主様ご優待の適用対象外となるなど、さまざまな制約がございます。

このようなご不便を解消するために、単元未満株式を当社が買い取る制度、および株主様が当社に対して買い増しを請求できる制度を実施しております。

買取・買増制度のあらまし

(事例) 単元未満株式400株の株主様



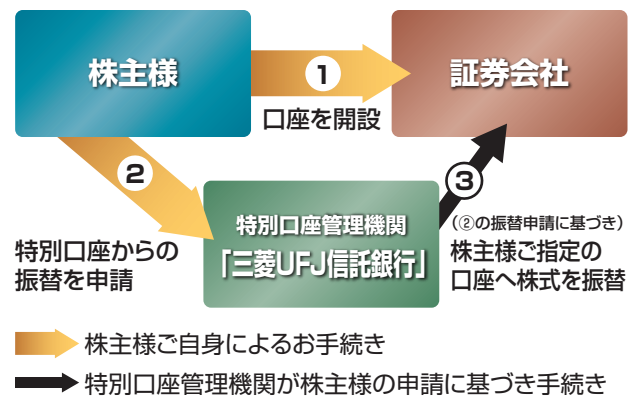
特別口座から証券会社口座への振替手続きのご案内

当社株主様のご所有株式の内、株券としてお手許に保有されたまま、平成21年1月5日のいわゆる「株券の電子化」に関する法律^(※1)の施行までに証券会社に預託されず、その後も証券会社口座への振替お手続きをされていない株式については、「特別口座^(※2)」に登録されております。

「特別口座」に登録されている株式は、そのままでは売却することができません。株式の売却その他、保有株式の管理やお手続きを便利に行えるよう、証券会社に口座を開設していただき、特別口座から証券会社口座へお振り替えされることをお勧めいたします。

(※1) 「株式等の取引に係る決済の合理化を図るための社債等の振替に関する法律等の一部を改正する法律」(平成16年法律第88号)

(※2) 当社株式の特別口座管理機関は「三菱UFJ信託銀行」です。



ご所有株式に関するお手続きについてのお問い合わせ先

● 「証券会社等の口座」で管理されている
当社株式に関する配当金振込指定
単元未満株式買取・買増請求、住所変更等

お取引口座を開設されている
証券会社

● 「特別口座」で管理されている
当社株式に関する配当金振込指定
単元未満株式買取・買増請求、住所変更等
● 未受領の配当金に関するお手続き

三菱UFJ信託銀行証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
フリーダイヤル 0120-232-711

株主メモ

剰余金の配当の基準日：期末2月末日 中間8月31日

定時株主総会の基準日：2月末日

定時株主総会：5月中旬に開催

公告方法：電子公告をもって行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。(登記ホームページ <http://www.j-front-retailing.com/>)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関
同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(電話料無料) (0120)232-711

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

当社ホームページアドレス：<http://www.j-front-retailing.com/>

より詳細な開示情報や最新の企業情報をご覧ください。

会社の概要

(平成24年8月31日現在)

商号：J.フロント リテイリング株式会社
 本社所在地：東京都中央区銀座六丁目10番1号
 設立：平成19年9月3日
 事業内容：百貨店業等の事業を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務

資本金：300億円
 発行可能株式総数：2,000,000,000株
 発行済株式の総数：536,238,328株
 株主数：72,928名

大株主	所有株数(千株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	36,712	6.94
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,347	5.74
3 日本生命保険相互会社	28,666	5.42
4 J.フロント リテイリング 共栄持株会	15,627	2.96
5 株式会社三菱東京UFJ銀行	14,291	2.70
6 第一生命保険株式会社	11,464	2.17
7 東京海上日動火災保険株式会社	8,369	1.58
8 J.フロント リテイリング 従業員持株会	7,908	1.50
9 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行株式会社再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,409	1.21
10 SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	6,128	1.16

(注) 持株比率は、自己株式(7,430千株)を控除して計算しております。

役員 (平成24年9月3日現在)			
取締役会長 (代表取締役) 兼最高経営責任者	奥田 務	株式会社大阪証券取引所 社外取締役 株式会社りそなホールディングス 社外取締役	
取締役社長 (代表取締役)	茶村 俊一		
取締役	山本 良一	株式会社大丸松坂屋百貨店 代表取締役社長 株式会社大丸松坂屋セールスアソシエイツ 代表取締役社長	
取締役 兼常務執行役員	塚田 博人	経営計画事業統括部長 株式会社白青舎 社外取締役 株式会社バルコ 社外取締役	
取締役 兼常務執行役員	林 俊保	業務統括部長 株式会社白洋舎 社外取締役	
取締役	高山 剛	大同特殊鋼株式会社 相談役	
取締役	橘・フクシマ・咲江	G&Sグローバル・アドバイザーズ株式会社 代表取締役社長 株式会社ブリヂストン 社外取締役 味の素株式会社 社外取締役	
監査役	鶴田 六郎	弁護士 TPR株式会社 社外取締役 株式会社三菱ケミカルホールディングス 社外監査役 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社外監査役	
監査役	野村 明雄	大阪瓦斯株式会社相談役 株式会社ロイヤルホテル 社外取締役 塩野義製薬株式会社 社外取締役 株式会社大丸松坂屋百貨店 社外監査役	
監査役	夏目 和良	中部日本放送株式会社 代表取締役会長 株式会社大丸松坂屋百貨店 社外監査役	
監査役(常勤)	荒井 健治	株式会社大丸松坂屋百貨店 監査役	
監査役(常勤)	西浜 確	株式会社大丸松坂屋百貨店 監査役	
(注) 1.取締役 高山 剛、橘・フクシマ・咲江の両氏は、社外取締役であります。 2.監査役 鶴田六郎、野村明雄、夏目和良の3氏は、社外監査役であります。			
執行役員	齋藤 賀大	経営計画事業統括部 部長 経営企画担当	
執行役員	阪下 正敏	経営計画事業統括部 部長 グループシステム戦略担当 兼株式会社大丸松坂屋百貨店執行役員 業務本部システム企画部長	
執行役員	松田 伸治	経営計画事業統括部 部長 CRE戦略・開発事業担当	
執行役員	清水 三樹夫	経営計画事業統括部 部長 関連事業担当	
執行役員	平山 誠一郎	経営計画事業統括部 グループ組織要員政策担当 兼株式会社大丸松坂屋百貨店執行役員 業務本部人事部長	
執行役員	小澤 雅	業務統括部 財務部長	
執行役員	樋口 雅一	株式会社ビーコックスストア 代表取締役社長	
執行役員	榎本 朋彦	株式会社JFRオンライン 代表取締役社長	

株主様ご優待制度のご案内

J.フロント リテイリング株式会社は、毎年2月末日現在で1,000株以上ご所有の株主の皆さまに対し、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店(全国22店舗)でご利用いただける「J.フロント リテイリング株主様お買い物ご優待カード」を5月中旬に発行いたします。

なお、毎年8月31日現在の新規株主の皆さまには、11月中旬に発行いたします。(有効期限は翌年5月31日まで)



優待

現金によるお買物が
10%OFF!

一部割引対象外の商品がございます。

「ご利用限度額の設定基準」

2月末日現在の保有株式数	当社株式継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上3,000株未満	100万円	200万円
3,000株以上4,000株未満	150万円	250万円
(以後1,000株増す毎に50万円ずつ加算)		
4,000株以上~10,000株未満	200万円~450万円	300万円~550万円
10,000株以上	500万円(上限)	600万円(上限)

※8月31日現在の新規株主様のみを対象に、11月中旬に発行する株主様ご優待カード(有効期限 翌年5月31日まで)のご利用限度額は、上表、「3年未満」の設定の半額といたします。

優待

大丸・松坂屋の
各店ミュージアムなどに
無料入場!

本カードのご提示により、ご本人およびご同伴者1名様に限り、大丸・松坂屋の有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

ご利用上のご注意

1.本カードは、お買い上げ時に売場係員にご提出いただきますと、以下の(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店における現金による値札価格でのお買物に限り、上記のご利用限度額の範囲内での**10%**を割引いたします。(ただし、フオーエバー21は5%割引)

(株)大丸松坂屋百貨店
 大丸心齋橋店、大丸梅田店、大丸東京店、大丸ららぽーと横浜店、大丸浦和バルコ店、大丸京都店、大丸山科店、大丸神戸店、大丸新長田店、大丸須磨店、大丸芦屋店、大丸札幌店、松坂屋名古屋店、松坂屋豊田店、松坂屋高槻店、松坂屋上野店、松坂屋銀座店、松坂屋静岡店
 (株)博多大丸(福岡天神店)、(株)下関大丸、(株)高知大丸、(株)鳥取大丸

①本カードは、全国百貨店共通商品券(日本百貨店協会加盟店発行分)、百貨店ギフトカード、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店が独自に発行する商品券・ギフトカード・商品お取替え券・友の会カード、他社発行クレジットギフト券の通用店でのお買物に限り、現金によるお買物と同様にご利用いただけます。(その他の商品券、お買物券、商品お引換券、デビットカード等によるお買物にはご利用いただけませんのでご注意ください。)

②本カードは、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店のお得意様口座、各種クレジットカード、通信販売・代金引換によるお買物およびそのご入金にはご利用いただけません。

③本カードは、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店の他のお買物優待券、お買物優待制度、他の割引およびポイント付与制度との併用はできません。

④本カードは、次のものについては割引いたしません。
 生鮮食品(海産物・精肉・青果)、書籍・CD類、たばこ、切手・印紙類、商品券類、各種商品引換券・ギフト券類、金・白金・銀の地金、貨幣類、各種送料・箱代・修理代、レストラン・喫茶、理容・美容室・エステティックなどの施術サービス、旅行代金、その他(ルイヴィトン、ティファニー、ブルガリ、カルティエ、エルメス、ロエベ、シャネル、ヴァンクリーフ&アーベル、東急ハンズ、ユニクロ、石井スポーツなど)特に各社が指定したもの。

2.本カードのご提示により、ご本人およびご同伴者1名さまに限り、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店の有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

3.本カードは、他人に譲渡、売買、貸与等をされた場合は無効といたします。本カードは紛失されても再発行いたしません。また、法人株主様の他のご名義への分割書換発行はできませんので、なにとぞご了承くださいませ。

お問合わせ先 東京都中央区八重洲二丁目1番1号 ヤンマー東京ビル内
 J.フロント リテイリング株式会社 株主担当
 電話(フリーコール)0120-938-077(水・日曜日は定休日)